

第5回大川市学校適正規模・適正配置化検討委員会 会議録

平成27年5月27日、大川市役所大会議室において、第5回大川市学校適正規模・適正配置化検討委員会を開催しました。出席者及び会議の経過並びに結果は次のとおりです。

1、開会及び閉会に関する事項

開会 午後3時30分
閉会 午後4時40分

2、欠席委員の氏名

石橋貞子委員、下坂浩二委員

3、事務局等の出席者

教育長	記伊 哲也
学校教育課長	下川 慎司
生涯学習課長	石橋新一郎
学校教育課 指導主事	東 勝典
学校教育課 指導主事	大石 政剛
生涯学習課課長補佐	岡 辰磨
学校教育課 総務係長	本田 龍雄
学校教育課 総務係	古賀 彰浩

4、傍聴者

3人

5、議事録

委員長	<p>本日は大変暑い中、またご多忙の中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。出席委員は定足数に達しておりますので、ただいまより第5回大川市学校適正規模・適正配置化検討委員会を開会いたします。会議次第に従って進めさせていただきます。</p> <p>委員長挨拶ということで、一言申し上げます。この委員会は昨年10月に発足致しまして、今回で5回目となりました。交代含め9名の新しい委員さんが入られまして、22名から25名の体制となっております。後ほど事務局の方から説明があるかと思いますが、今年9月までに答申を出す予定にしております。大川市の小中学校の将来の児童生徒の為になるような答申になるようにしたいと思っておりますので、みなさま今後とも審議の方よろしく願いいたします。では、次第3の委嘱状交付に移りたいと思っております。事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>こんにちは。学校教育課の下川と申します。委員の異動があつておまして、新しく9名の方が委員になられております。その9名の方に委嘱状をお渡ししたいと存じます。委員さんを代表しまして箴島委員さんに委嘱状を交付します。恐れ入りますが、前の方へお越してください。</p>

	<p>(教育長より箴島委員へ委嘱状への交付) ※代表して、箴島委員へ委嘱状を交付する。</p>
事務局	<p>なお、新規に委員になられました皆さま方へは、机の上に委嘱状を配布しておりますが、新しく委員になられた方についてご紹介をさせていただきます。紹介されました委員さんについては、その場にてご起立をお願い致します。それでは、箴島かおる委員、市議会選出で文教厚生委員長をされています。次に、遠藤博昭委員、市議会選出で文教厚生委員をされています。長茂行委員、大川地区区長会からの選出です。中原正美委員、田口地区区長会からの選出で会長をされています。今村政美委員、大野島地区区長会からの選出で会長をされています。山田和弘委員、学校関係者ということで大川樟風高等学校の校長をされています。今村和博委員、中学校関係者という事で、大川東中学校の校長をされています。井手正俊委員、中学校関係者という事で、大川南中学校の校長をされています。下坂浩二委員、中学校関係者という事で、三又中学校の校長をされています。本日は欠席の連絡を戴いております。以上で、新しく委員になられた方のご紹介を終わります。次に記伊教育長よりご挨拶を申し上げます。</p>
教育長	<p>みなさんこんにちは。先ほど委員長からのご案内の通り、審議中ではございますが、新しい委員さんをお迎えしての第5回目の検討委員会でございます。まずは大変お忙しい中、当委員会へご参集いただきまして誠にありがとうございます。4月1日付けの西日本新聞に「67年ぶりに今年返還」という事で、大川中学校の土地が風浪宮に返還されるという記事が出ておりました。いよいよもってこれで中学校は、再編成しなければいけないと思った所ですが、これは小学校も同じでして、確か小学校は決まったわけではないと。と申しますのも、小学校適正規模に関して、中間まとめでは6学級から18学級でまとまっておりました。ということは、6学級なら8校、12学級なら4校になるわけですから、まだ小学校についても決まったわけではないという事です。いずれにしましても、9月までにこの事や、小中一貫学校もふまえて、みなさま方から色々な貴重な意見を戴きながら答申をつくっていきたいと思います。先ほど事務局より申しましたように9月に答申を作ります。子ども達にとって、その答申が最適な環境づくりになることをお祈り申し上げまして、教育委員会からのご挨拶に代えさせていただきます。本日はよろしくお願い致します。</p>
委員長	<p>では、本日の議題に入ります。まず議題(1)副委員長の選任について、事務局の説明をお願いします。</p>
事務局	<p>北島副委員長が辞任されましたので、後任の副委員長を決めていただく必要があります。大川市学校適正規模・適正配置化検討委員会規則第5条により、委員の互選となっておりますので、どうぞよろしく願いいたします。</p>
委員長	<p>どなたか、いらっしゃいませんか。</p> <p>(立候補なし)</p>
委員長 事務局	<p>いらっしゃらないようですので、事務局に腹案がございませんか。 前副委員長と同じく、大川樟風高校の校長先生という事で、山田委員にお</p>

委員長	<p>願いたいと思います。</p> <p>事務局より山田委員に副委員長をお願いしたいとのことですが、いかがでしょうか。ご賛同いただければ拍手をお願いいたします。</p> <p>(拍手多数)</p>
委員長	<p>ご賛同いただきましたので、山田委員に副委員長をお願いいたします。それでは、新しく副委員長に就任されました山田委員さんは、副委員長の席に移動していただき、ひとことご挨拶をお願いいたします。</p>
副委員長	<p>前任の北島校長先生が副委員長という事で、その後任として務まるか分かりませんが、精一杯力を尽くして会議の進行に務めさせていただきたいと思っております。よろしくをお願いいたします。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。次に、議題（２）中間まとめについて、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>新任の委員さんに資料をお配りしております。まず検討委員会の規約、それと検討用の資料①、②、それと平成51年度までの児童生徒数の推計資料です。新委員さんにつきましては、途中の会議で配布しておりました資料の、事務局が重要と思う分をお配りしております。資料の中身の説明については、この場では割愛させていただきます。では、説明させていただきます。第4回までに委員さんより、色々な意見を出していただきました。意見を集約しますと、小学校は「学校・保護者・地域と連携を推進し、また防災拠点であるため、そのまま存続」との意見が多数でした。中学校は、「生徒の競争性を確保する為、再編を検討すべき」との意見が多数でした。その意見を基に、適正規模と適正配置について採決を取っております。まず、適正規模は、小学校が6学級から18学級、中学校が9学級から21学級ということで、出席委員19名中18名が賛成されておりますが、反対意見として、小学校もクラス替えができる規模にするべきとのことでした。また、適正配置は、小学校が概ね4km以内。中学校は概ね6km以内ということで、出席委員19名全員が賛成され、基本的考えが決定しているところです。今後、その基本的考えを踏まえ、具体的な方策へと進んでいきます。現在の小学校は適正規模に合致しますが、小中一貫校、ないしは複式学級も含めて、具体的な方策を考えていきます。中間的な考え方としまして、いろんなご意見を戴きました。これにつきましては、中間まとめとしてまとめた結論だけを報告させていただきたいと思っております。以上で説明を終わります。</p>
委員長 A委員	<p>事務局より説明が終わりました。ご意見、ご質問等はございませんか。</p> <p>今会議は、前回までの内容をきちっと説明していただけるというお話ではなかったのですか。私が資料を要求した時には、第1回目の会議で今までの経過報告をするので、事前に資料は不要だと説明を受けましたが。それが今の説明ですか。</p>
事務局	<p>今の説明は、第4回までのまとめの説明となっております。第4回が中間まとめとなっておりますので、途中で適正規模と適正配置の基本的な考えを決めてあります。</p>
A委員 事務局	<p>ですから、その経過を新しい委員に対して説明してください。</p> <p>では、今までの議事録がございましたので、コピーしましてお配り致します。</p>

A委員	私は、この会議がある前に要求しましたね。初めて会議に参加するので、内容が分かりませんので、今までの委員さんに迷惑をかけてはいけないから、今までの経過の資料が欲しいと出向きました。今日1日を費やして経過報告をしていただけるというお話ではなかったのですか。
事務局	わかりました。本日の開始時間が3時30分という事で、今までの経過報告を網羅するという事が不可能かと思いますので、まずは中間まとめの中で、ご質問等があった場合にはお答えする事にしまして、その後新委員さんへは、資料をお渡しする事にして宜しゅうございますか。
A委員	わかりました。
B委員	私も委員のご意見に賛成でして、委員さんが事前にこの会議の経過を尋ねられた時に、お答えするのが当然かと思います。私も本日の会議で、どのような説明をされるのかと思って参りましたが、このA4ペーパーの半分ですよ。今まで4回の会議があって、様々な意見が出てきたと思えます。それをこのような形にはとてもまとめきれないかと思えますし、その辺りをもっと詳しく説明されて、「こういう問題があったけれども、このような審議があって、この結果になりました」という説明でなければ、私たちも受け入れられないかと思えます。後で説明というより、事前に新委員さんを集めて説明すべきでは。そして今会議に挑むのが筋かと思えますが、いかがでしょうか。
委員長	今の事は、後で説明するというのは、事前に了解を得ていたのではないのでしょうか。
B委員	いえ、たった今教育長からお聞きしました。ですから、私もうっかりしておりましたが、やはり検討委員会に出席する前に、第5回にスムーズにつながるためには、そういった説明が必要かと思えます。これは大事な事ですので、みなさん、将来に据えて子ども達の最適な環境を真剣に考えていらっしゃいます。その辺りの説明をもっと前もってしていただけていたら、第5回の会議にスムーズに入れたことかと思えます。
委員長	私も説明を受けておりませんで、申し訳ございません。私としては、前回の委員会までに賛成多数で承認されていますので、この内容は了解していただきたいと思っております。
B委員	はい。
A委員	その内容についての質問はどうなりますか。
委員長	この結論を承認していただきたい。
A委員	決定事項に関して、なぜ質問はできないのですか。
委員長	この内容に関しては決定しておりますので、今後の過程で議論が必要であれば議論したいと思います。
A委員	しかし、決定事項と言われた先ほどの教育長のお話とはズレがあったのではないですか。
事務局	すみません、私が申し上げたのは、6から18、または9から21という学級数、適正配置の4km, 6kmの基準でして、それは変わりません。
A委員	しかし教育長は、6未満であれば決定が無いと言われたでしょう。
事務局	6未満とは申し上げておりませんが。
A委員	クラスが6学級であればという事です。6から8が適正となれば、18学級なら適正と決定されたのも分かりますが、その6以下だった場合です。
事務局	6以下だった場合と申し上げておりません。ですから6もあれば12もあ

<p>A委員 事務局</p>	<p>りますという事です。 先々その学校が5学級になったら、どうするのですか。 ですから、それを今から審議しましょうと、事務局から申し上げております。</p>
<p>A委員 委員長 C委員</p>	<p>はい。6から18が適正ということですか。 よろしいでしょうか。</p>
<p>C委員</p>	<p>今までの流れも踏まえて提案ですが、今教育長の話にもありましたが、学校の数ではなく、学級の数が6から18という事で採決されて決定したわけでありまして、理解しております。私も最初の会議で提案した側ではありますが、今まで防災や地域とのつながりの意味で小学校は8校維持すべきだと。しかし、もう一つの視点、教師の新卒採用がドンと増えて、ベテランの方がここ5年ほどで急激に減ります。この先新卒の方がどんどん入って来られるのが目に見えています。例えば大野島小学校に2学年で新卒の先生が入っています。その新卒の先生が良い、悪いではなく、田口小や木室小のように1学年に1組はベテランの先生、2組は新卒の先生であれば1学年でバランスが取れます。しかし教務主任や教頭先生がカバーするにしても、新卒の先生が1学年全部の担任になり、どんどん学校の人数が狭まってくれば、1クラス的人数が減り、南中のように教職員の人数も減らされて、部活動対応や顧問制度にも影響をきたしています。小学校の統廃合は、教職員の育成という面では避けられないかという視点も持ちました。本日は区長会長、校長先生、学校関係者といろんな方が出席されていますので、いろんなご意見を伺いたいと思います。10年後、20年後にどれだけ大野島に帰ってくるかを考えたときに、まず教職員が充実した成長を遂げない限りは、教える側の充実なくして、教育の充実はありません。まずは教職員の体質を強化すべきかと。そういった視点から小学校の再編は必要ではないかと、視点を少し変えて提案をしたいと思います。仮に案ですが、例えば大野島小と川口小は合併するとか、大川小と宮前小は合併するとか。木室小、田口小は人数的に充分運営されているかと思しますので弄らないとか。そういった事を考えて、小学校再編を考えていかないと、現在、地域と子どもとのつながりは8校あるなかでどこも素晴らしいと思います。しかし出生率が下るのも目に見えますし、PTAの数も減ります。そして地域の方々、今の団塊の先輩方の地域貢献意識はものすごく高いです。しかしそれも減ってしまいます。ですから、全部減ってしまう訳で、ここ数年であまりにも急激にベテランと新卒の先生の入れ替わりが進むので、そこを考えると、やはりここ数年で小学校の統廃合も考えていくべきではないかという事も審議に加えて戴きたいと思ます。一つの提案です。</p>
<p>事務局</p>	<p>ただいまの意見につきましては、小学校については6学級から18学級との基準の決定を戴いておりますので、例えばその中で出来る話もありましょうし、例えば、附帯意見として、委員が言われるように5学級になった場合どうするのか、複式学級が発生した場合、また発生しない場合でもする必要性があるのか、その辺りはこれから皆様にご意見を戴きながら進めていきたいと思ますので、よろしく願いいたします。</p>
<p>C委員 委員長</p>	<p>はい。 審議の過程では、小学校は現状のまま将来的に、統廃合が必要となれば、</p>

<p>C委員 委員長</p>	<p>段階的に進めていこうという意見でまとめていいという事でしょうか。 今回の答申では8校案で出すという事ではないですか。 いいえ、まだまだそれは。小学校は6学級から18学級という事について承認しているだけです。</p>
<p>D委員 委員長</p>	<p>この規模に関しては決定事項だから変わらないという事ですよ。 はい、そうです。</p>
<p>D委員 事務局 E委員</p>	<p>ですから、学校の数に関してはこれから審議検討するという事ですね。 よろしいでしょうか。</p>
<p>委員長</p>	<p>すみません、今、委員の方から言われたように、教職員の問題というのはもう分かっている事であって、ですから出来るだけ学校や校長先生方の方からもそういう声を上げていただきたいですし、学校の数や配置の前に、どうしたら大川市として子ども達にとって素晴らしい教育環境を提供できるのか、そういうものを出していくための検討であり、そのためには1つにした方がいいかも知れないし、2つがいいのかも知れない。その辺りで今度は学校運営する側からの考え方、1番学校運営がやりやすい教育規模、クラス規模、児童生徒数。そういうものも含めて、ここの半数以上の方は学校の先生が現場でやってらっしゃる事ですから、私たちも勉強はしておりますが、その辺りの部分は想像でしか語れませんので、専門的な意見は専門家の方からここで議論していただいて、大川市の10年後、20年後にとって1番いいものを検討していくという。ですから本日のまとめの部分の1番目の部分は、おおよその方向性としてまとまった認識という事で、最終的にはそれを含めてどうあるべきか、という見当を出す方向性を確認していただいた方がいいのかと思います。一事不再理ではありますが、失礼な言い方かもしれませんが、勉強はしている方と、知識が全くない方と、学校の現場に詳しい方と、いろいろな方で検討していますので、ずっと煮詰めていったらスキルアップしていく中でいい答えが出るかと思っています。一つの結果として決定した適正規模・適正配置はこうだと、共通認識として持ったという上での今後の検討委員会を進めていただけたらと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>それでは、せっかく、校長先生もいらっしゃいますので、いかがでしょうか。</p>
<p>F委員 委員長</p>	<p>小学校は6から18学級という事で、これに対応したら現状のままという事で進んでいくと、まずは、理解しております。その後小中一貫校問題もありますので、そうなると、小学校の数とか問題になると考えております。</p>
<p>委員長</p>	<p>小中一貫校等に関しましては、今後の審議になるかと思いますが、先ほど委員が言われたように、ベテランの先生と新卒の先生の担任の問題、そういう点は小学校としていかがでしょうか。</p>
<p>F委員</p>	<p>規模が大きくなると、新任の先生や経験がない先生の数がまた増えるという事が争点でして、現在規模が大きな学校では2人の新任の先生を配置していただきました。規模が小さな学校でも、1人の配置となっておりますが、1人の先生を育てるという事は結構な労力を注ぎます。これでまた規模が大きくなって、たくさんの新卒の先生が入るとなると、またそこに対する力がかかりますので、規模を大きくするイコール教職員の育成につながるかと言われると単純には考えられないかと思っています。</p>
<p>委員長</p>	<p>いろんな問題がありますね。それぞれの解釈を伺いたいと思います。他に</p>

C委員	<p>ございますか。</p> <p>もう一ついいですか。今度は中学校の件です。中学校の場合、部活動が減っていきます。部活動は顧問の先生がいらっしゃって、監督の基に練習をされていますが、当然教職員の数が減らされると、部活の数が縮小します。それでどうなるかという、社会的クラブチームに生徒がどんどん出ていきます。それはそこでの人間関係もありますから、個人の人間の成長はあるかと思えます。しかし生徒たちの活躍が学校で見ることができません。大会等で活躍する選手も見ることができません。生徒間で多種多様な刺激が様々な部活動から出てきますが、そういった刺激がなくなっていく。南中でもどんどん部活動が減っていく状況です。なんとかか人が増えてほしいですがすぐには無理です。例えば中学校を統廃合する場合、小中一貫の話も少しありましたが、東中は田口小と木室小の合併で充分人数がいますので、そこはレギュラーレベルとして置いておいて、もう一つは、南中や三又中のように極端に人数が減っている場所については統廃合して小中連携を持つ。比較するチャンスはこの機会しかないのでは。これから先何年か小中一貫教育の場と、小学校のいろんな授業をする担任の先生と、中学校の体育教科の先生とが混じり合う事による刺激、中学校の生徒指導が小学校の児童に与える影響も踏まえて、小中一貫としての一つの形と東中のスタンダードの形とあって、それぞれにいい面があるでしょうから、いい方にどんどん偏っていくでしょうから、先々にはいい方を残す。それが大川市のスタンダードになる。比較する機会は今しかない。小中一貫の指導は他の地域でもあっておりますが、大川市はどうするか考えた時に、小中一貫もやりながら、東中のようなレギュラースタイルも持ちつつという、どちらかにかけてリスクを受けるのではなく、両方やって選択制にすればいい流れに行くのではないかという提案です。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。それにつきましては、検討していきたいと思えます。それでは、現在の中学校の意見はございませんか。</p>
G委員	<p>確かにクラブ活動に関しては、非常に支障をきたしていることは認識しています。今年もそうですが、この数年で一番危惧しているのは、先ほどのように社会体育のクラブに入っている子ども達が非常に増えてきている状況です。これはやはり将来的にどうなるかわかりませんが、学校の部活動が社会体育に移行する可能性はあります。しかしながら、今まで学校の部活動というのは先程も委員さんの方からもでましたが、教育的な意義という面では大事な所だと思いますし、そういった意味から、少なくとも学校統廃合しながら部活動を実施できる、そこに中学校の指導者がいて、それがまた中学校の中で部活動や授業・生徒指導の面でも反映していくのがベストなのかと考えているところであります。今はどの学校でも部員が少なく、本校においても野球部やバレー部、安全面に考慮して休部という事になっております。おそらくこの学校も減らしている状況だと思います。そういう側面から言えば、学校の部活動を残すためには統廃合もいいのかと。しかし小中一貫校うんぬんは少し疑問があります。</p>
委員長	<p>色んな意見が出ておまして、部活動の面からしても中学校に関しては統廃合という意見が出ましたけども、認識としてはあってもいいかと思えますがいかがでしょうか。</p>
A委員	<p>先ほど小学校の立場から、新任の先生に対しての教育の話が出ましたが、</p>

G委員	<p>中学校はいかがでしょうか。</p> <p>中学校は一校だけになると、どのくらいの教職員の規模になるか分かりませんが、おそらく四分の一か三分の一が減るのではないかと思います。</p>
A委員	<p>新任の先生が入ってきた時の教育体制として、小学校は新任の先生が増えすぎると困るとおっしゃっていましたが、中学校はいかがでしょうか。</p>
G委員	<p>教科の中では、例えば国数社理英は大規模になれば2、3人体制になると思いますので、指導はできるかと思います。しかしその他の教科についてはなかなか。義務教育課程については1人という訳ではないので、他所の学校と連携を取って育てていただくという面があります。しかし新任の先生については、単に授業だけではなく周りからのサポート、指導員の先生が付きながら指導していただく形でやっている状況です。極端に先生について指導するという状況でなくても、周りの先生でカバーできていると思っております。</p>
委員長	<p>小学校のように1日中担任の先生がつくという訳ではありませんし、中学校は教科ごとになります。</p>
G委員	<p>クラス作りについては、まだ学年で2、3学級あるので、各学年で共同して、クラス作りをしてもらっていいのではないかと考えています。</p>
委員長	<p>新任の校長先生がいらっしゃいますので、追加のご意見等ございませんか。</p>
H委員	<p>追加と言いますか、私も経過が分からない中で、一度だけ傍聴に来ました。私は数年前に東京に行きまして、某研修長と話をしましたが、東京は今ほとんど若い先生ばかりになっているという事です。それで何が困るかという、学校文化がなくなっていると。どちらの方向を向いて学校が動けばいいか、若い先生ばかりだと分からなくなると。おそらく後々地方にもこの流れが来ると話されて、福岡の方にも来ています。先ほどの委員の話は大川の事だけではなく、教育の任用制度の事、それから全国的な流れでもあります。それをこの会議の中で検討していつ果たしてどうかという部分でもありますが、しかし子ども達の教育をどうあるべきかと考えていくという事は、一つの考えていかないといけない部分ではあります。一昨年新しい教職員が1名来まして、今年も新しい臨時の養護教員が来ました。今までは年寄ばかりでしたので、今はかえて良い状況にあります。やはり活性化になりますし、今は教育の中にOJTというものがあまして、これは外に出て行う研修の一つです。学校の中で一緒に子ども達を目前にして行う研修にも取り組んでいます。東中学校は現在8学級、去年は9学級ありましたが、その中ではベテランの先生が、新しい先生を育てるというベースは出来ています。ただあと10年もすれば逆転現象が起きて、若い先生達ばかりになります。じゃあ誰が指導するかと言えば、今いる若い先生が育てるしかない。しかしこれは大川市に限ったことではないのです。国が2、3年前まで、教職員採用の際に大卒、教職員大学卒、院卒だけではなく、インターンシップの形でも採用していた事もありますからそういう意味では全国的な事なので、しかし当然検討しなければいけない事ですが、そこまで考えてこの事について検討するのは難しい。それよりも、前回検討したという事でメリット、デメリットがあります。その後にもっと重要視しないといけないものがあるのでは。それを考えながら大川の子どもの実態、大川の地域の実態、それと大川市は小中連携教育を通じて8年間も研究されている所がありますから、その実態を基に大川ならではの適正規模・適正配置検討委員会を考えながら、必要に応じ</p>

<p>事務局</p>	<p>た対応をして、地域の防災拠点を一番に考えるならそれを優先していけばいい訳であって、まとまりにくいですが、先ほどの話のように教職員が若くなっているから、どうするかというようないった事は考えなくても。もちろん大事な問題ですが。それと先ほどの委員さんのお話はどうなりましたか。今までの会議の経過は私も気になるところでありますが。その中で出た議論はある程度知りたいと思いますが。</p> <p>お残り頂ければ、説明を致しますと申し上げました。引継ぎをされていらっしゃる関係があったので、いらしたと思います。お時間を戴ければ説明をさせていただきます。よろしくをお願いします。</p>
<p>委員長 B委員 事務局 B委員 I委員</p>	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>時間はどのくらいかかりますか。</p> <p>それほどかかりません。</p> <p>それほどというのは、どのくらいの時間でしょうか。</p>
<p>委員長</p>	<p>すみません、現場の学校運営側の話として、部活動の問題が出ました。本校でも26年度から本年度にかけてまして生徒減によりまして8学級から7学級に、職員が2名減りました。実際昨年度は部活動が男女で14部経営しておりましたが、2名教職員が減りましたので、この部活動経営が本年度は非常に厳しい。昨年度末からこの状況が分かっておりましたので、職員の方で話を持ちまして、本年度の新1年生から、男子バレー部と硬式テニス部、文化部では美術部と書道部は総合文化部という事で統合して募集するとしております。大変厳しい状況です。この事を保護者の方に説明しますが、それぞれ自分が入っている部が規模縮小・将来的には廃部となるわけですから、やはり今在籍している生徒たちは最後まで面倒を見ますが、所属していた部がなくなるという事は生徒たちにとっては大変な事で、この問題にどう答えを出していくかは現場の校長として申し上げる事は、将来的に1校、あるいは2校になるか分かりませんが、どこの学校も同じような状況が出ていますので、できるだけスピード感を持って対応をお願いします。統廃合の問題がこの先4年、5年先ではなく、現場はこの問題ですと悩んでいかなければいけませんので、是非スピード感を持って進めていただきたいと思っております。それともう一点、新任の先生の教育の件では、中学校の場合は規模が1校、あるいは2校になれば、逆に中学校は3学年制ですから1学年の数が増えますので、いわゆる先ほどのOJT、年配の先生が若い先生を指導するという体制ができるのではないかと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>若い教職員が増えるという事での対応策を具体的に教えていただきました。ありがとうございます。続きまして事務局からの提案という事で進みます。よろしいでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>次回の会議につきまして、以前、委員さんの方から意見が出ておりました視察について受入市との調整がつきましましたのでご提案させていただきます。視察先はみやま市教育委員会で、現在、小学校の統合後の学校施設を建設中です。日時については、平成27年6月30日（火）14時からみやま市山川庁舎で行いたいと思います。みやま市山川庁舎までは、市のバス等を準備いたしますので、13時10分までに大川市役所正面玄関にご集合していただきます。後日、正式に案内文書を送付しますので、出欠について回答をお願いします。</p>

委員長 J委員	<p>事務局からの提案について、何かご質問・ご意見等ございますか。</p> <p>前年度から引き続き委員をさせていただいておりますが、今日はメンバーも新たに変わったばかりの方で、もちろん仕組みへのご意見も出ておりました。また現場の校長先生のご意見も伺えまして、非常に参考になりました。ただ心配しておりますのは、この適正規模・適正配置化検討委員会で本年度9月に答申を出しますが、推察するに大きな問題でありますし大川の実情があるでしょうが、文科省の指導等見ておりますと大変な作業です。しかし専門の皆さん方の見解は非常に参考になりました。それから市民代表の場である議会の文教委員の市議会委員さんもおられる。そこで9月の私達の答申を受けて、どのように検討されるのかと感じています。私たちの答申がすなりいくとは思っておりませんが。委員長さん、教育長と、どのような話し合いがされているのでしょうか。いかがでしょうか。</p>
委員長	<p>話し合いはもちろんしておりますが、まだこれから最終的な詰めをしていくところです。今は委員の皆様のご意見を、できるだけ答申に反映させたいという思いで様々なご意見を伺っている所です。市当局の意見はどうかと気になりますが、それもまだはつきり私も分かっていない状況です。やっと小学校と中学校の適正規模を承認していただきまして、今後、具体的な方策をあと数回の会議で決める必要があるわけです。その中で皆さんのご意見を十分に反映させたいですし、なるべく市議会の方にも受け入れられるような内容になればと願っていますし、その中で必要な事項も付けて行けばと思っています。</p>
J委員 委員長	<p>その通りと思います。ありがとうございました。</p> <p>私が気になりましたのは、先ほど出ました教職員の採用の件については、この会議の中で結論は出せないのでは。それを具体的な統廃合の事案等が出た時に参考にさせていただくという事を申し添えたいと思います。視察については、他にございませんか。</p>
G委員	<p>先進地の視察の中では、そこを視察するだけですか。その中で会議を持つのでしょうか。というのは、視察が6月30日で、視察で次回会議の日程も6月30日でしょうか。</p>
委員長 G委員 委員長 G委員	<p>6月30日は視察のみです。</p> <p>ではまたその前に会議が開催されるという事でしょうか。</p> <p>次回会議は7月に予定しております。</p> <p>7月ですか。私としてはまだまだ話したい事がたくさんありますが、7、8月に2回会議があって9月に答申という事ですか。</p>
委員長 G委員 委員長	<p>では会議の回数を増やしますか。</p> <p>いや、増やすというよりも。</p> <p>では視察の前に委員会を開催した方が良いという見解でよろしいでしょうか。</p>
G委員	<p>というよりも本日はあまり話せなかったのので、あと2回の会議で9月の答申というには、少し不安が残るなという危惧がありまして、意見を述べております。</p>
事務局	<p>視察日程につきまして、みやま市教育委員会の方から、みやま市が行った統廃合についての説明を1時間ほど、こちらからの意見として30分ほどの会議を考えております。移動に1時間半ほど掛かりますので、昼から行けば</p>

G委員	<p>夕方まで会議で、意見を聞いていただこうと考えております。</p> <p>わかりました。視察はもちろん大事な事です。その後の会議の持ち方、あと2回ほどの会議で、果たして意見が出尽くして9月の答申にいう形にまとまるのか不安が残りましたので、意見させていただきました。</p>
委員長	<p>はい。もう少し調整したいと思います。それと今までの委員会で意見があれば、事前に事務局に文書で提出していただくという方法もありますのでよろしくお願い致します。</p>
G委員	<p>はい。</p>
K委員	<p>一言よろしいですか。先日、区長会として、大野島小の運動会に行きました。全校生徒92名ですね。その後に孫は昭代第一小ですので、そちらにも行きました。300人程度いますのでやはり盛り上がり方が違います。当然、合併していかなければ、できないかと思えます。それからすれば、せっかくこの機会に検討委員会を設けているのですから、小学校も300人程度にまとめていただいて、盛り上がりのある学校にしていきたいと思います。よろしくお願い致します。</p>
委員長	<p>はい。そのような意見でもまして審議いたしました。最終的には地域の考えとして小学校はそのまま統廃合はしないという形にまとまりましたが。</p>
K委員	<p>しかし、平成51年度までにはいつかはまとめないといけない。是非この機会にその方向性を持っていただきたいと思えます。</p>
事務局	<p>おっしゃる通りです。ですから大野島小学校の大規模大改装工事は去年実施しまして、今年も予定しておりましたがストップしております。これがはっきりしない事には進められないと。答申が出る前に校舎を新しくするのはおかしいと。先ほどありました6から18学級というのは、まだ決定していません。いまだに案やご意見をいただいて最終的には経営会議、市議会の方に提出したいと思えますので、よろしくお願い致します。</p>
L委員	<p>初めて、参加しますが資料を見ておると、大川市における適正配置、距離の問題で小学校はおおむね4km以内、中学校は6km以内、今現在ある小中学校を基準にして考えてあるのでしょうか。</p>
事務局	<p>ただいまのご質問の適正配置ですが、小学校おおむね4km以内、中学校おおむね6km以内というのは、国で定められた基準を基に出しております。この基準を基に大川市でも同一の適正規模でどうかという事で審議していただきまして、ご承認戴いております。他の地域ではこの国の基準を変えてあるところもございます。都会の方では狭くしたり、田舎の方では広くしたりですね。大川市の場合はこの基準にうまく当てはまりましたので、この基準になりました。</p>
L委員	<p>ただし、実際、小・中学校で再編の話が出ておりますが、例えば、大野島小や川口小が一緒になると他では距離感というのが違うがそれを出して決めているのかどうか、田口小から木室小など。</p>
事務局	<p>申し訳ございません。ご説明していませんでしたが、資料②の方に地図を載せております。距離数を地図上で計算して表示しております。説明が足りないというお話だと思いますが、資料を提出して委員さんがたにはご承認戴いております。</p>
L委員	<p>結局は、学校を大きくするには距離が伸びると思うのですが、小学校は6から18学級でそのままでもいいと、中学校は9から21学級にしたいとい</p>

事務局 E委員	<p>う事ですよ。その場合の距離ですか。</p> <p>その通りです。</p> <p>よろしいですか。平成の大合併で市町村合併がありましたね。そこで広い市町村ができた所がありますね。先日、視察に来られて、「大川は平野でとてもいい。自転車や徒歩でどこでもいけますね。野を越え山を越えて行かなくてもいい」と。先ほど言われた距離感の問題も、子どもにとっても2km、小学校低学年ならなおさら1kmでも大変です。しかしそれは、スクールバス等の手段としての対策ができます。規模や配置の件は、大川市の限られた面積の中で拠点をどこにするか。金の事はここでは考えず議論するという事になりますが、実際行政としては金の事も問題になりますが。その辺りは行政が有効活用等も考えながら、子どもにとってどういう事ができるかと言えば、手段としてスクールバスも考えられますし、先ほど言われた大野島から川口へという事で、あの橋は大人でも歩くのは大変です。その辺では距離は長く感じるでしょう。その辺りも含めながら検討するという事で、手段はたくさんあると思います。私としては、教育環境がどうあるべきかを一番に考えて、学校側も運営しやすい形を、意見を集めて、理想はこうだというものを出していただく会議の場であってほしいと思います。</p>
委員長	<p>今のスクールバスを含めての話をしてはいますが、場所等がまだですので、今後の問題になって来るかと思っています。</p>
D委員	<p>先ほど委員さんが言われたように新委員さんは、今までの経過が分からないので、今会議は4回までの会議の焼き増しになっていると感じます。それはやはり委員が言われたように、最初に今までの経過を説明されていれば、こうゆう事にならなかった。教育長が言われたようにこの後説明されるのでしょうか。7、8月に審議、9月答申という事ですが、新委員さんからすると、あと何回審議ができるのかという事にもなりますし。今までのペースだと月1回の会議開催でしたから、あと2回の審議で9月答申というのはちょっと。8月はまともに入るでしょうから、7月しか意見を言う場がない。委員長が言われたように回数を増やすという事でクリアできるかと思っていますので、いずれにしろ、しっかり前もっての準備は今後の会議に対しても必要かと思っていますので、注意していただきたいとも思いました。よろしく願いいたします。</p>
委員長	<p>わかりました。事前説明がないというのは把握しておりませんで、申し訳ございませんでした。</p>
E委員	<p>教育長に伺いたいのですが、9月に答申というのは、その後つもりとして、行政としてどういう考えや、何故9月なのか、その辺りのいきさつを教えてください。</p>
事務局	<p>はい。まずこの答申を1年で出すというのは通常ありえないのです。大体2年くらいかけますが、市町のやり方です。しかし他の市町はすでにやっています。大川市だけがやっていなかったのです。遅すぎた。何故こんなに早くするのかというと、そこには中学校の問題があり、このままいけば中学校の部活動は全部廃部です。間に合わないで、先ほどスピーディという言葉が出ましたが、早くしたい。早く答申を出して審議にかけていきたい。今後具体的なものは出ないと思います。皆様のご意見はもちろん充分反映させますが、条件付きの答申を出しながら、地域説明をしながらやっていかねば</p>

E委員	<p>ならないと思います。これから先新校舎建設まで4, 5年はかかるかと思えます。ですから早めにやろうという事で1年という事になっております。先ほど出ましたが委員長とは答申の出口については話しておりません。あくまで皆さんのご意見を聞いて決めていきたい。そして市長に提言をしていきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>もう一つよろしいですか。今日は生涯学習課長も見えられていますし、文化協会の会長会もありますので、そういう団体とのバックアップ体制を教育委員会の方できちんと頻繁に音頭を取ってやっていけば、先生方もした事もない柔道を教えて怪我をして障害が残ったというようなリスクを背負いながらやってらっしゃるわけですし、剣道協会や柔道協会もあるわけですから、そういうものも含めてやっていけば、いくらかでも現場の負担は減ると。教育長は所管の長ですから是非お願いします。</p>
事務局 委員長	<p>はい。わかりました。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>それでは次回の会議につきましては、6月30日の午後2時から先進地視察を行いますので、委員各位のご参加をお願いいたします。以上、予定しておりました議題は全て終わりました。本日はこれで閉会致します。どうもご苦勞様でした。</p>